

2021年度 剰余金処分について

生協では、組合員さんの利用で生み出した剰余金を、将来の目的のために積み立てたのち、利用や出資金に応じて組合員さんに還元します。これを剰余金処分といいます。

剰余金処分の考え方は、①将来の基盤づくり ②もしもの時の備え ③組合員への還元とします。

当事業年度の剰余金処分において、共有財産である法定準備金及び任意積立金に48億9,130万円、組合員さんへの還元5億5,939万円とします。剰余金処分は、生協法にもとづいて、毎年の総代会で決めます。

(単位：円)

I. 当期末処分剰余金		6,085,799,899	
II. 剰余金処分類			
1. 法定準備金	516,000,000		
2. 利用分量割戻金(供給事業)	498,130,930		
3. 出資配当金	61,268,080		
4. 任意積立金			
(1) 支所開設積立金	1,500,000,000		
(2) 物流最適化積立金	1,500,000,000		
(3) 経営基盤強化積立金	1,000,000,000		
(4) 福祉推進積立金	200,000,000		
(5) 資産再評価積立金	150,000,000		
(6) 商品安全推進積立金	17,000,000		
(7) 環境事業積立金	5,000,000		
(8) 災害支援積立金	3,000,000		
(9) 平和活動積立金	300,000	5,450,699,010	
III. 次期繰越剰余金			635,100,889

生活協同組合おおさかパルコープ 2023年 総代選挙公示

定款第45条(総代の選挙)および総代選挙規約第4条(総代の選挙区及び総代定数)にもとづき、生活協同組合おおさかパルコープ2023年総代選挙を以下のとおり行ないます。

[記]

(1) 総代定数および選挙区について

- ①総代定数は500名とします。
②選挙区は、以下の8選挙区とします。

選挙区	定数	選挙区	定数
枚方市	91	大阪市A	50
寝屋川市・守口市・門真市	76	大阪市B	80
大東市・四條畷市・交野市	48	大阪市C	53
		大阪市D	55
		大阪市E	47

(2) 総代届けの期間は、本公示日より、7月27日(水)正午までとします。

(3) 総代選挙規約第2条(総代選挙管理委員)にもとづき、下記の5名を2023年総代選挙管理委員に任命します。
寺井 千賀子、井口 やす子、下山 雅代、中谷 千代、内田 理佐

(4) 総代立候補届けは「所定の用紙」に必要事項を記入して、総代選挙管理委員会に提出して下さい。

2022年6月27日
生活協同組合おおさかパルコープ
理事長 奥井 和久

※オプザーバー登録を希望される組合員さんは、組合員活動部へご連絡の上、「所定の用紙」に必要事項を記入して、7月27日(水)正午までに組合員活動部にご提出ください。

※この件に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。
パルコープ組合員活動部： ☎ 06-6242-0904
FAX 06-6242-0926
(電話受付時間 月～金：午前9時～午後6時)

公 告

2021年度出資配当金・利用分量割戻金(供給事業)のお支払いについて

2022年6月7日の通常総代会で、2021年度決算剰余金の出資配当金、利用分量割戻金(供給事業)が決まりました。お支払い方法は、出資金への振替を下記の要領で行います。

計算基準

〈出資配当金〉年率0.3%の金額です。

2021年4月～2022年3月の各月の20日現在の出資金が基準です(毎月20日の出資金口数残高の合計÷12×0.3%)。

1口=1000円です。

お支払いは源泉徴収税20.42%が控除された金額となります。
〈利用分量割戻金(供給事業)〉

対象期間は2021年3月21日～2022年3月20日となります。
共同購入については年間利用額の1.0%です。

(食べてSmile、くらしのパートナー(別便を除く)、ここにこほっぺ、からだに思いやり(宅配を除く)、先着限定企画(チケットを除く)のご利用が対象となります)

店舗については年間利用額の0.3%です。

(ギフト、チケット、切手、印紙、ハガキ(年賀状含む)、宅急便代、粗大ごみ券、商品券代を除くご利用が対象となります)

※出資配当金および利用分量割戻金(供給事業)の計算で出た10円未満の端数は切り捨てて計算いたします。

該当組合員

本事業年度末(2022年3月20日)に在籍する組合員でかつ総代会当日(2022年6月7日)の在籍組合員です。

支払方法

全額7月20日に出資金に振り替えるものとさせていただきます。ただし、返金希望の方の受付は、7月上旬にお届けします「出資配当金・利用分量割戻金のお知らせ」にて案内いたします(共同購入利用の方へは6月27日～7月1日配布の注文書とセットで、店舗のみ利用・共同購入で注文書の発行が無い方へは7月上旬にハガキでお届けいたします)。

*共済割戻しについて

〈たすけあい〉共済の割戻は、「日本コープ共済生活協同組合連合会」から実施されます。9月中旬～下旬に契約者宛にお知らせが郵送されます。

2022年6月8日 生活協同組合おおさかパルコープ

2022年通常総代会アピール

ウクライナへのロシアの侵攻や、ミャンマー軍事政権の市民弾圧で、多くの命と平穏なくらしが奪われています。いかなる時も、武力で他の国を侵略することや、一般市民への暴力は決して許されません。

戦争による悲しい歴史の上に、日本の私たちは、全ての人が恐怖と欠乏から免かれ、平和に生きることのできる世界をめざしてきました。昨年、ヒバクシャの悲願、核兵器の破壊と恐怖をとりのぞく「核兵器禁止条約」が発効しました。私たちは日本政府に速やかな署名と批准を求めます。

おおさかパルコープはくらしに役立つ事業と活動を、組合員さんの運営参加ですすめてきました。平和でよりよい生活をめざし、目の前の困難に対して助け合い支え合っていくのが協同組合です。

今、世界に広がる格差と貧困が、コロナ禍で一層深刻化し、人々の生活や子どもたちの未来を脅かしています。値上げの波が押し寄せて、家計にさらに負担がかかっています。今こそ、消費税の引き下げを求めます。

私たちは被災地支援、子ども食堂やシングルマザーへの食材提供、お買い物支援を、行政や諸団体とも連携して続けていきます。

日本の食料自給率は37%です。産地は高齢化や自然災害の増加の中でも、懸命に努力しています。私たちは生産者に寄り添い、メーカーさんと手をつなぎ、第一次産業を守り地域経済に貢献していきます。

生命の存続が危ぶまれる気候危機も始まっています。美しい地球を守り、子どもたちに持続可能な社会を残すのは、私たち大人の責任です。消費者の購買行動で市場は変化します。主権者である私たちの選択で社会は変えることができます。多様な情報に広くアンテナを張って、マスコミの情報だけに惑わされず、みんなで学び考え続けていきましょう。

生活協同組合おおさかパルコープ 通常総代会

「つるみ店・忍ヶ丘店のリニューアルや、ぼるんカード導入で精算が便利になった」など、気持ちよくお買い物ができることと喜ばれている声をいただきました。要望があるクレジットカードについて6月中に全店で利用できるようにすめ、さらに「ぼるんカード」の普及にも力をいれます。

店舗職員の挨拶や接客対応への改善のご意見もいただいています。働く職員の「お店は組合員さんの為のもの」を常に意識して取り組みをつよめていきます。

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けたい」思いをいただきました。パルコープの事業として、大阪市内南部エリア

福祉について

視覚障がいのある組合員さんの困りごとを、声の商品案内を作成されているボランティアチームの皆さんの発信でコープきんぎと協議を重ね、使いやすいeフレンドへの開発がすすみました。

店舗事業について

今年と来年に3つの新しい配送センターが稼働する予定です。より組合員さんに近い所からお届けでき、配達職員が「心のゆとり」を持ち、組合員さんに寄り添う対応ができるよう、引き続き労働環境の整備をすすめていきます。

事業計画について

コロナ禍による人手不足と世界的な異常気象、ロシアのウクライナ侵攻も重なり、ガソリン・食品・日用品などの値上げなど、くらしはますます厳しい状況になることが考えられます。

これからも、組合員さんと生産者・職員の三者が力を合わせて、顔の見える・気持ちの通い合う関係を大切に、組合員さんの日常生活に事業で貢献していきます。

支援活動について

お買い物困難地域での移動販売車は、訪問エリア拡大や、3号車導入の準備をすすめます。

子ども食堂フードバンクは、子ども食堂とシングルマザー支援団体にお届け。パルコープエリア内の行政・社会福祉協議会などとの連携も広がっていきます。

共同購入について

配慮したラベルレス商品の充実など、可能なところから具体化。また、今年から、営業車両に電気自動車の導入をすすめます。

組合員活動について

コロナ禍でも組合員活動が地域ですすめられ、生産者との交流や商品学習・平和・子育て支援とオンラインを使ったコミュニケーションの輪が広がりました。組合員活動委員会のみなさんへ j p a d の貸与、組合員会館・集客室にオンライン通信環境を完備、ポケットWiFiの貸し出しなど、今年度もさらに、誰もが気軽に参加できる条件づくりを一緒にすすめていきます。

発言を受けての理事会のまとめ(要旨)

文書発言含め43件の発言をいただきました。議案を深める意見と受けとめ、今年度の事業、活動にいかしていきます。

平和・環境について

生協は創設以来、平和を守る取り組みをすすめてきました。3月より取り組んだウクライナ緊急募金は一旦終了しましたが、組合員さんより継続を望む声を多くいただいたおり、再度募金の呼びかけをおこないます。

環境問題について、商品カタログの削減や商品包材、仕分け袋の改善、環境に

配慮したラベルレス商品の充実など、可能なところから具体化。また、今年から、営業車両に電気自動車の導入をすすめます。

組合員活動について

コロナ禍でも組合員活動が地域ですすめられ、生産者との交流や商品学習・平和・子育て支援とオンラインを使ったコミュニケーションの輪が広がりました。組合員活動委員会のみなさんへ j p a d の貸与、組合員会館・集客室にオンライン通信環境を完備、ポケットWiFiの貸し出しなど、今年度もさらに、誰もが気軽に参加できる条件づくりを一緒にすすめていきます。

減や商品包材、仕分け袋の改善、環境に

の福祉拠点となるバル東住吉福祉センターが7月から稼働します。組合員さんの「くらしのたすけあいの会」、医療生協などと地域の困りごと情報を共有し問題解決に向けて連携をしていきます。

2022年 通常総代会議案採決結果

	議 案	賛 成
第1号議案	2021年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件	多数
第2号議案	2022年度事業計画・収支計画案、ならびに役員報酬決定の件	多数
第3号議案	常勤役員退職慰労金支給の件	多数
第4号議案	役員選任補充の件	多数
第5号議案	定款の一部変更の件(特別議決議案)	2/3以上の賛成多数
第6号議案	商品代金未払い組合員の除名の件(特別議決議案)	2/3以上の賛成多数